

## 第 8 3 回

# トラック運送業界の景況感（速報）

平成 2 5 年 7 月～ 9 月 期

---

平成 2 5 年 7 月～ 9 月 期は、日銀短観においては、大企業製造業の景況感が平成 2 0 年 9 月のリーマンショック前の水準を回復し、大企業非製造業や中小企業の D I も改善するなど、景気回復や円安進行などを背景とした企業マインド改善が続いていることが確認された。

このような中、トラック運送業界の景況感の判断指数は▲ 1 4 となり、前回（▲ 3 6）から改善した。前回の業況改善は大規模事業者に集中し、中規模事業者、小規模事業者では景況感に改善が見られなかったが、今回はいずれの規模においても改善している。しかし、燃料価格高騰の影響を受け、営業利益は中・小規模事業者においては依然として伸び悩んでいる。

今後の見通しについては、横ばいの▲ 1 4 となり、本来であれば、1 2 月にかけて増税前の駆け込み需要で内需が盛り上がりすると予想されるにもかかわらず、業界はさほど楽観していない。受注増となっても、燃料コストの高止まりや人材不足、環境適合車の維持コスト等が収益を圧迫し、景況感の判断を押し下げている。

---

平成 2 5 年 1 1 月 1 8 日

公益社団法人 全日本トラック協会

## 1. 今回（平成25年7月～9月期）の状況

### ①概況

平成25年7～9月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は21%（前回11%）、「悪化」とした事業者は32%（前回42%）で、判断指標は▲14となり、前回（▲36）から大幅に改善した。

### ②特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が20%、「増加」とする事業者が29%で、判断指標は+6となり、前回（+17）から11ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が28%、「増加」とする事業者が22%で、判断指標は▲10となり、前回（+7）よりも17ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が28%、「増加」とする事業者が22%で、判断指標は▲10となり、前回（▲4）から6ポイント悪化した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が18%、「増加」とする事業者が39%で、判断指標は+23となり、前回（+6）から17ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が18%、「増加」とする事業者が43%で、判断指標は+28となり、前回（▲2）から30ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が27%、「増加」とする事業者が23%で、判断指標は▲8となり、前回（▲14）から6ポイント改善した。

### ③一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が26%、「増加」とする事業者が33%で、判断指標は+5となり、前回（▲20）から25ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が29%、「増加」とする事業者が32%で、判断指標は0となり、前回（▲20）から20ポイント改善。営業利益は「減少」とする事業者が42%、「増加」とする事業者が18%で、判断指標は▲29となり、前回（▲36）から7ポイント改善した。

### ④運賃水準

運賃水準は、宅配貨物は▲13（前回▲4）と悪化、宅配以外の特積貨物は+15（前回▲9）と改善、一般貨物は▲10（前回▲19）と改善となった。

### ⑤実働率等

実働率は+8（前回▲21）と29ポイントの大幅増、実車率も+3（前回▲19）となり、22ポイントの大幅増となった。

雇用状況（人手の過不足）は+54（前回+32）と22ポイントの大幅増となり、依然として不足感が強い。採用状況は▲1（前回▲3）で指標はほぼ横ばい、所定外労働時間は+8（前回▲13）と21ポイントの大幅増となった。

保有車両台数は▲2（前回▲4）で指標はほぼ横ばい、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は+2（前回▲9）と11ポイント増加、経常損益は▲23（前回▲28）とやや改善した。

## ⑥地域別および規模別、取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、全体的に前回までの水準からの大きな変化はないが、前回9位と水準の低かった関東が6位に上昇し、東北と九州の水準がそれぞれ5位から7位、7位から9位と低下した。

事業者の規模別では、大規模事業者は相対的に指標の水準がよい。すべての規模で前回より10ポイント以上改善しており、特に小規模事業者では、30ポイント以上と改善幅が大きい。

主な取扱い品目別についても、すべての品目で前回より改善しており、特に建設関連貨物は36.9ポイントと大幅に改善している。

## 2. 今後（平成25年10月～12月期）の見通し

### ①概況

平成25年10～12月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲14で、今回と横ばいの見込み。

### ②特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量及び営業収入と営業利益はやや減少の見込みである。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量と営業収入はやや減少、営業利益は僅かに増加の見込みである。

### ③一般貨物

一般貨物は、輸送数量は横ばい、営業収入は僅かに減少、営業利益はほぼ横ばいの見込みである。

### ④運賃水準

宅配貨物は改善、宅配以外の特積貨物はやや悪化の見込みである。また、一般貨物は横ばいの見込みである。

### ⑤実働率等

実働率、実車率はやや悪化の見込みである。

雇用状況（人手の過不足）は指標の水準を上げ、引き続き不足感がある見込みである。採用状況はやや改善、所定外労働時間は横ばいの見込みである。

保有車両台数、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）、経常損益は横ばいの見込みである。

## ⑥地域別および規模別、取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、四国で18ポイント以上指標を下げる見込みであるが、中国、九州は10ポイント以上指標を上げる見込みである。

事業者の規模別では、中規模の事業者において僅かに改善する見込みである。

主な取扱い品目別では、機械関連がやや悪化する見込みである。

### 3. 特積貨物の概況

項目		概況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅配貨物	輸送数量	前回	4	31	44	19	2	(17)
		今回	2	27	51	16	4	(6)
		見通	0	22	62	12	4	(2)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より11ポイント悪化した。</li> <li>・規模別では小規模事業者は前回から改善しており、大規模事業者と中規模事業者は悪化している。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>							
	営業収入 (売上高)	前回	0	31	48	17	4	(7)
今回		0	22	49	24	4	(-10)	
見通		0	14	61	20	4	(-14)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より17ポイント悪化した。</li> <li>・規模別ではいずれの規模も前回から悪化した。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>								
営業利益	前回	0	20	57	20	2	(-4)	
	今回	2	20	49	22	6	(-10)	
	見通	0	18	53	22	6	(-16)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より6ポイント悪化した。</li> <li>・規模別では大規模事業は前回から改善しており、中規模事業者と小規模事業者は悪化している。</li> <li>・今後は水準をやや下げる見込み。</li> </ul>								
運賃・料金の水準	前回	0	6	85	9	0	(-4)	
	今回	0	6	75	19	0	(-13)	
	見通	0	15	73	13	0	(2)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より9ポイント悪化した。</li> <li>・規模別では大規模事業者が改善しており、中規模事業者は悪化、小規模事業者は横ばいである。</li> <li>・今後は水準を上げる見込み。</li> </ul>								

#### 【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。  
第83回調査は、平成25年9月27日に、モニターに対して調査開始。～平成25年11月14日回収分までを集計。

	特積	一般	回答事業者 全体
回収数	76	595	628

※一部回答事業者の重複あり

項 目		概 況								
		0%	20%	40%	60%	80%	100%			
宅	輸送数量	前回	1	23	56	20	0	(6)		
		今回	2	37	43	18	0	(23)		
		見通	2	29	49	20	0	(14)		
配		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より17ポイント改善した。</li> <li>・規模別ではいずれの規模も前回から改善した。</li> <li>・今後は水準をやや下げる見込み。</li> </ul>								
		以	営業収入 (売上高)	前回	1	21	52	26	0	(-2)
				今回	2	41	38	18	0	(28)
見通	2			32	48	17	0	(20)		
外		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より30ポイント改善した。</li> <li>・規模別ではいずれの規模も前回から大幅に改善した。</li> <li>・今後は水準をやや下げる見込み。</li> </ul>								
		の	営業利益	前回	0	17	53	28	1	(-14)
				今回	0	23	51	22	5	(-8)
見通	0			21	55	23	1	(-5)		
特		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より6ポイント改善した。</li> <li>・規模別では大規模事業者は前回より改善、中規模事業者はやや改善、小規模事業者は悪化。</li> <li>・今後は水準を僅かに上げる見込み。</li> </ul>								
		積	運賃・料金の水準	前回	0	5	81	14	0	(-9)
				今回	0	22	71	7	0	(15)
見通	0			23	64	13	0	(10)		
貨		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より24ポイント改善した。</li> <li>・規模別ではいずれの規模も前回から大幅に改善した。</li> <li>・今後は水準をやや下げる見込み。</li> </ul>								
		物								

凡例

	<p>大幅に増加・上昇・好転・人手不足 +2点</p> <p>やや増加・上昇・好転・人手不足 +1点</p> <p>横ばい 0点</p> <p>やや減少・低下・悪化・人手過剰 -1点</p> <p>大幅に減少・低下・悪化・人手過剰 -2点</p>	<p>(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。</p> <p>(注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。</p>
--	---	---

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1~+2、横ばい0、減少・悪化-1~-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

$$A \text{ (設問Aの回答者数)} = a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5 \text{ (設問Aの選択肢1~5の回答数の和)}$$

$$\text{指標} = \{ (+2 \times a_1) + (+1 \times a_2) + (0 \times a_3) + (-1 \times a_4) + (-2 \times a_5) \} \div A \times 100$$

#### 4. 一般貨物の概況

項目	概況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%
<b>輸送数量</b> (全体)	前回	0	21	43	29	6	(-20)
	今回	2	31	41	21	5	(5)
	見通	2	26	50	19	3	(5)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より25ポイント改善した。</li> <li>・地域別では九州を除く全地域が改善している。品目別ではその他貨物が大幅改善している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>							
<b>営業収入</b> (売上高)	前回	1	24	37	31	7	(-20)
	今回	2	30	39	24	5	(0)
	見通	2	25	46	23	4	(-3)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より20ポイント改善した。</li> <li>・地域別では九州を除く全地域が改善し、北海道が大幅に改善。品目別ではその他貨物が大幅に改善している。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>							
<b>営業利益</b>	前回	0	16	38	38	7	(-36)
	今回	1	17	39	34	8	(-29)
	見通	1	17	42	33	7	(-28)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より7ポイント改善した。</li> <li>・地域別では北海道が大幅に改善している。品目別では建設関連、機械関連が改善している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>							
<b>運賃・料金の水準</b>	前回	0	4	76	18	3	(-19)
	今回	0	7	78	13	2	(-10)
	見通	0	6	78	14	2	(-11)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より9ポイント改善した。</li> <li>・地域別では全地域で改善し、近畿が前回から大幅に改善している。品目別では全品目で改善している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>							

## 5. 共通の概況

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
実働率	前回	1	16	48	29	5	(-21)
	今回	1	28	50	18	2	(8)
	見通	1	22	57	17	3	(2)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より29ポイント改善した。</li> <li>・地域別では関東、中部、中国が大幅に改善している。品目別ではその他貨物が大幅に改善している。</li> <li>・今後は水準をやや下げる見込み。</li> </ul>						
実車率	前回	1	14	57	24	5	(-19)
	今回	1	22	57	16	3	(3)
	見通	1	19	61	16	3	(0)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より22ポイント改善した。</li> <li>・地域別では四国が大幅に改善している。品目別ではその他貨物が大幅に改善している。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						
雇用状況 (人手の過不足)	前回	8	24	60	7	1	(32)
	今回	12	34	50	4	0	(54)
	見通	18	35	42	5	0	(65)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より22ポイント上昇した(不足感が高くなった)。</li> <li>・地域別では東北の水準が高く、規模別では大規模事業者の水準が高く、不足感がある。</li> <li>・今後は水準を上げる見込み。</li> </ul>						
採用状況	前回	1	13	71	12	3	(-3)
	今回	1	14	73	9	3	(-1)
	見通	1	18	69	9	3	(4)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より2ポイント改善した。</li> <li>・規模別では大規模事業者が僅かに悪化し、採用が減少している。</li> <li>・今後はやや水準を上げる見込み。</li> </ul>						
所定外労働時間	前回	0	12	66	18	3	(-13)
	今回	1	19	68	11	1	(8)
	見通	1	19	68	10	1	(8)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より21ポイント増加した。</li> <li>・規模別では大規模事業者、中規模事業者の水準が高く、所定外労働時間が増加している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
保有車両台数	前回	0	13	71	14	1	(-4)
	今回	0	14	70	15	1	(-2)
	見通	0	14	74	11	1	(1)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より2ポイント改善した。</li> <li>・地域別では中国が前回より大幅に増加、東北では減少している。</li> <li>・今後は水準を僅かに上げる見込み。</li> </ul>							
貨物の再委託 (下請運送会社への 委託割合)	前回	1	13	64	17	4	(-9)
	今回	2	18	64	14	3	(2)
	見通	1	19	63	14	3	(2)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より11ポイント増加した。</li> <li>・地域別では四国、中国が前回より大幅に増加し、規模別では中規模事業者が前回より大幅に増加している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>							
経常損益	前回	0	19	39	34	7	(-28)
	今回	1	21	41	30	8	(-23)
	見通	1	20	43	29	7	(-21)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より5ポイント改善した。</li> <li>・地域別では四国が悪化している。規模別では、小規模事業者がやや改善し、大規模事業者がやや悪化している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>							
業界の景況感	前回	0	11	47	36	6	(-36)
	今回	1	20	47	27	5	(-14)
	見通	1	24	41	29	6	(-14)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より22ポイント改善した。</li> <li>・地域別では九州を除く全地域で改善している。品目別では全品目が改善し、特に建設関連が改善している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>							

## 6. 事業者特性格別の特徴

事業者特性	特 徴																																								
①地域（注4）	<p>◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25年 4～6月期前回</th> <th>H25年 7～9月期今回</th> <th>H25年 10～12月期見通</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>四国</td> <td>北陸信越</td> <td>中部</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>北陸信越</td> <td>四国</td> <td>中国</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>中部</td> <td>中部</td> <td>北陸信越</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>北海道</td> <td>北海道</td> <td>四国</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>東北</td> <td>東国</td> <td>関東</td> </tr> <tr> <td>6位</td> <td>北国</td> <td>関東</td> <td>東北</td> </tr> <tr> <td>7位</td> <td>九州</td> <td>東北</td> <td>北海道</td> </tr> <tr> <td>8位</td> <td>近畿</td> <td>近畿</td> <td>近畿</td> </tr> <tr> <td>9位</td> <td>関東</td> <td>九州</td> <td>九州</td> </tr> </tbody> </table>		H25年 4～6月期前回	H25年 7～9月期今回	H25年 10～12月期見通	1位	四国	北陸信越	中部	2位	北陸信越	四国	中国	3位	中部	中部	北陸信越	4位	北海道	北海道	四国	5位	東北	東国	関東	6位	北国	関東	東北	7位	九州	東北	北海道	8位	近畿	近畿	近畿	9位	関東	九州	九州
	H25年 4～6月期前回	H25年 7～9月期今回	H25年 10～12月期見通																																						
1位	四国	北陸信越	中部																																						
2位	北陸信越	四国	中国																																						
3位	中部	中部	北陸信越																																						
4位	北海道	北海道	四国																																						
5位	東北	東国	関東																																						
6位	北国	関東	東北																																						
7位	九州	東北	北海道																																						
8位	近畿	近畿	近畿																																						
9位	関東	九州	九州																																						
②規模（注5）	<p>・すべての規模で景況感は前回と比べ改善し、特に大規模事業者はマイナスからプラスに転じ、小規模事業者は30ポイント以上大幅に改善した</p> <p>・今後は大規模事業者、小規模事業者でやや悪化する見込み。</p> <p>事業規模別 業界の景況感業況判断指標の推移(H23.7～9期より)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規模</th> <th>H24. 10～12期</th> <th>H24. 1～3期</th> <th>H24. 4～6期</th> <th>H24. 7～9期</th> <th>H25. 10～12期</th> <th>H25. 1～3期</th> <th>H25. 4～6期</th> <th>H25. 7～9期</th> <th>H25. 10～12期 (見通)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大規模</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>中規模</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-17.4</td> </tr> <tr> <td>小規模</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-45.7</td> <td>-14.8</td> </tr> </tbody> </table>	規模	H24. 10～12期	H24. 1～3期	H24. 4～6期	H24. 7～9期	H25. 10～12期	H25. 1～3期	H25. 4～6期	H25. 7～9期	H25. 10～12期 (見通)	大規模	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	2.3	中規模	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-17.4	小規模	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-14.8
規模	H24. 10～12期	H24. 1～3期	H24. 4～6期	H24. 7～9期	H25. 10～12期	H25. 1～3期	H25. 4～6期	H25. 7～9期	H25. 10～12期 (見通)																																
大規模	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	2.3																																
中規模	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-17.4																																
小規模	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-45.7	-14.8																																
③品目（注6）	<p>・消費関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げた。一般貨物の輸送量としてみると、特殊品の水準が相対的に高い。今後の水準はほぼ横ばいの見込み。</p> <p>・建設関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、窯業品の水準が相対的に高い。今後の水準は僅かに上げる見込み。</p> <p>・機械関連を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、電気機械、その他機械が水準を上げた。今後の水準はやや下げる見込み。</p> <p>・その他貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、金属製品、その他の水準が相対的に高い。今後の水準は僅かに下げる見込み。</p> <p>業界の景況感(品目別、前回からの指標の増減)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費関連貨物</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>建設関連貨物</td> <td>36.9</td> </tr> <tr> <td>機械関連貨物</td> <td>13.4</td> </tr> <tr> <td>その他貨物</td> <td>30.1</td> </tr> </tbody> </table>	品目	増減	消費関連貨物	8.4	建設関連貨物	36.9	機械関連貨物	13.4	その他貨物	30.1																														
品目	増減																																								
消費関連貨物	8.4																																								
建設関連貨物	36.9																																								
機械関連貨物	13.4																																								
その他貨物	30.1																																								

(注4) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上      中規模事業者：21両以上100両以下      小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

## 7. 景況感一覽表

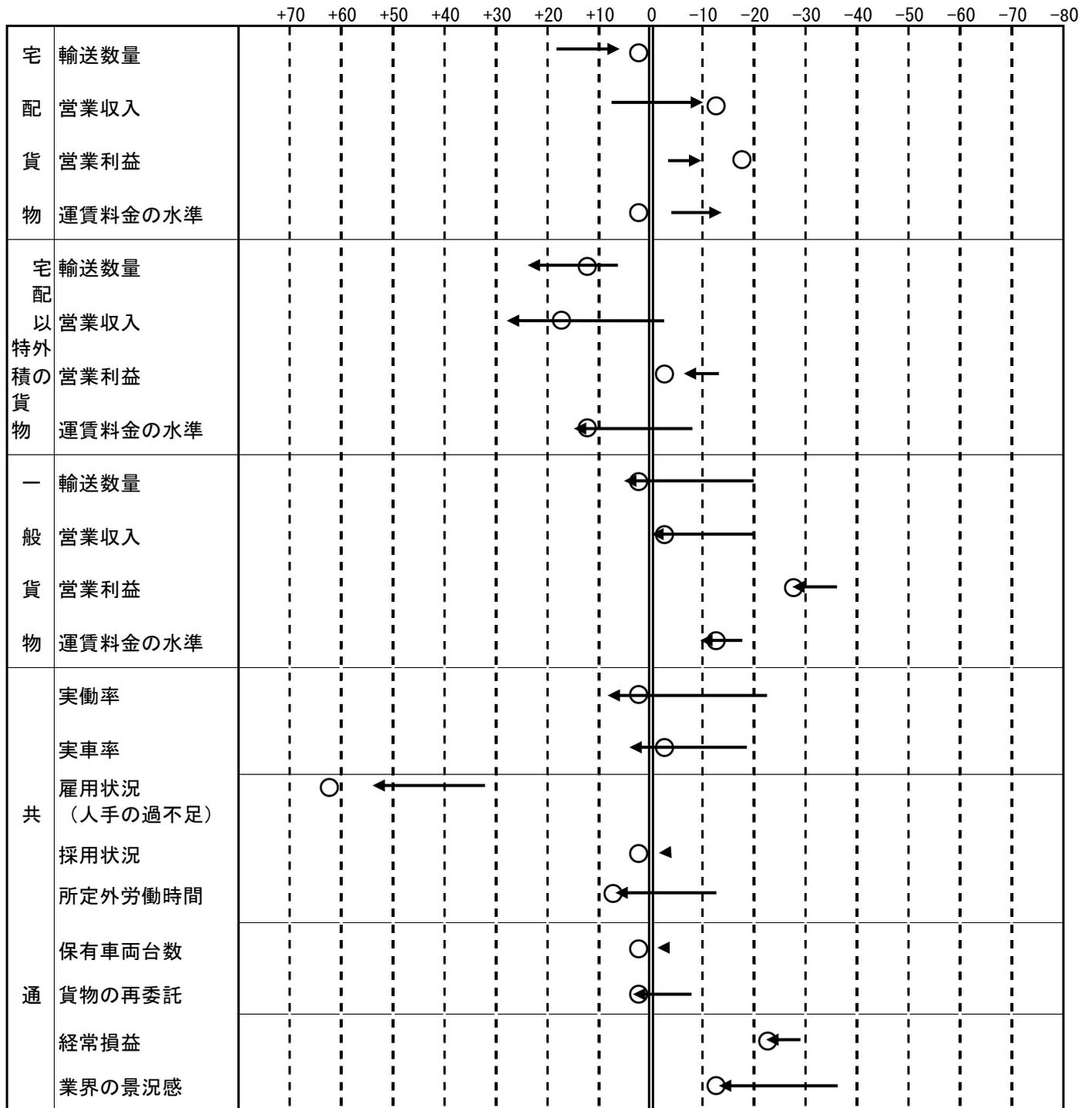
		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の特積貨物											
全体		→	→	→	→	→	→	↘	→	→	→	↗	↗	→	→	→
地域	北海道	↑	→	↘	→	→	↘	↘	→	→	→	→	→	→	→	→
	東北	↗	↗	↗	→	↗	→	→	→	→	↗	↗	↗	→	→	→
	北陸信越	↗	→	→	→	↗	↗	→	→	→	→	↗	↗	→	→	→
	関東	→	↓	↓	→	→	→	↘	→	→	→	→	↗	→	→	→
	中部	↘	→	→	→	↗	→	↘	→	→	→	↗	↗	→	→	→
	近畿	↘	→	→	↘	→	→	↘	↘	→	→	→	→	↘	→	→
	中国	↘	↘	→	↗	↗	↗	↘	→	→	→	→	→	→	→	→
	四国	↗	→	→	→	↗	↗	→	→	→	→	↗	↗	→	→	→
	九州	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
事業者規模	小規模事業者	↘	↘	↘	↘	→	→	↘	→	→	→	→	→	↘	→	→
	中規模事業者	→	↘	↘	→	→	→	↘	→	→	→	↗	↗	→	→	→
	大規模事業者	→	→	→	→	↗	→	→	→	→	↗	↗	↗	→	→	→
取り扱い品目	消費関連貨物	-	-	-	→	→	→	→	→	→	→	→	↗	→	→	→
	建設関連貨物	-	-	-	→	→	↗	→	→	→	→	→	↗	→	→	→
	機械関連貨物	-	-	-	→	↗	→	↘	→	→	→	↗	↗	→	→	→
	その他貨物	-	-	-	→	↗	↗	↘	→	→	→	↗	↗	↘	→	→

(注7) 各項目は、関連する判断指標（前年同期に対する水準）から平均値を算出。  
 貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。  
 宅配貨物は品目別評価をしていない。

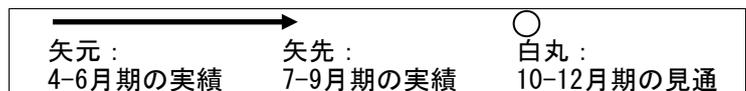
凡例 ・各欄は、左：前回（4-6月） 中央：今回（7-9月） 右：見通（10-12月）  
 ・矢印と判断指数の対応

判断指数	… -100 …	… -60 …	… -20 …	… +20 …	… +60 …	… +100 …
矢印	↓↓↓	↓	↘	→	↗	↑

8. 業況判断指標の前回調査（平成25年4月～6月期）からの変化

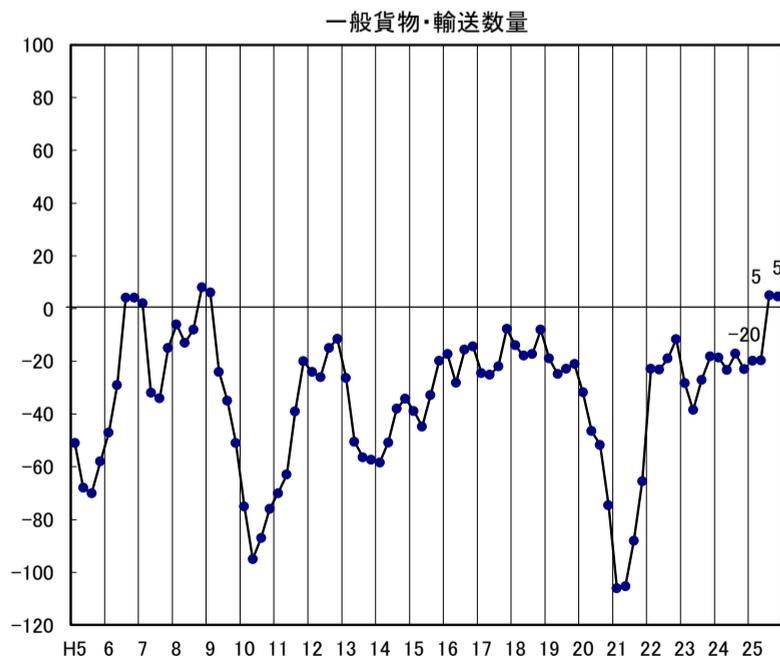
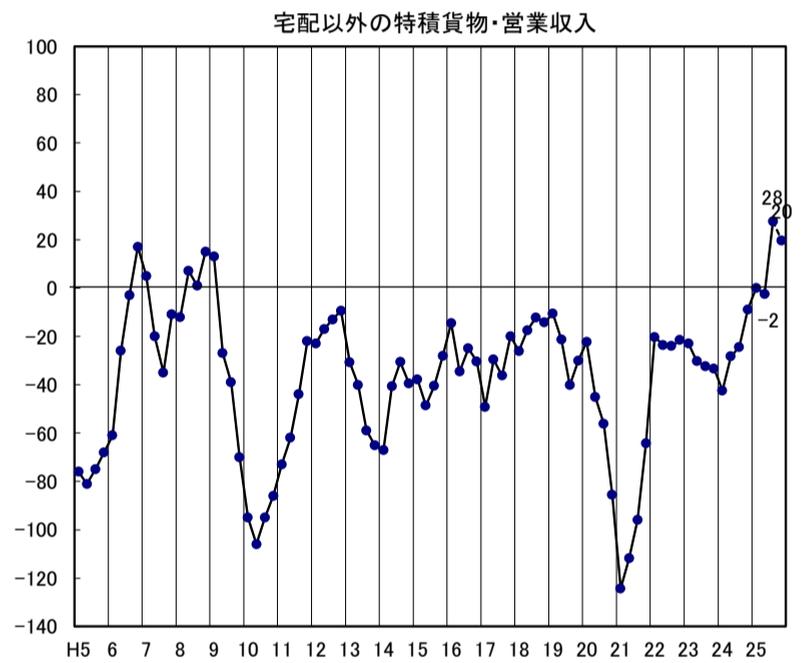
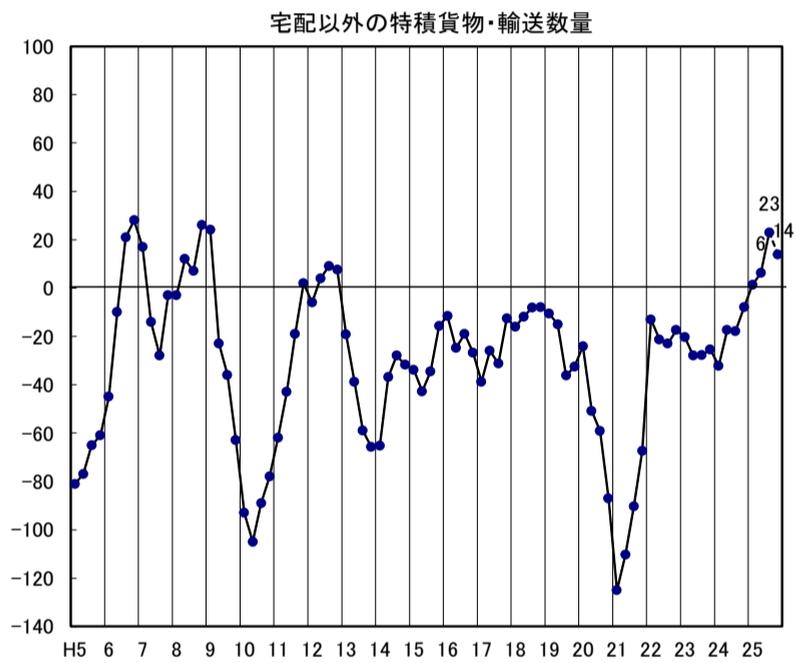
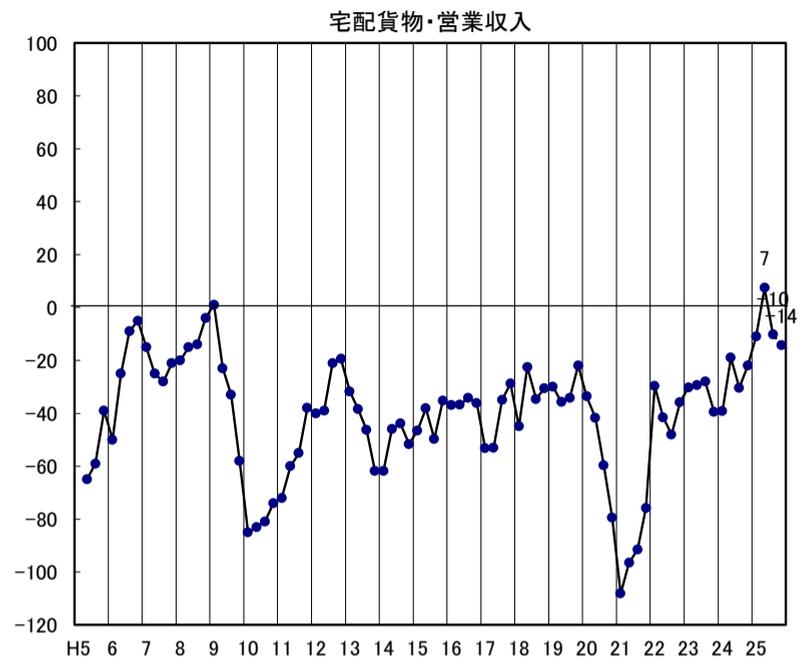


凡例



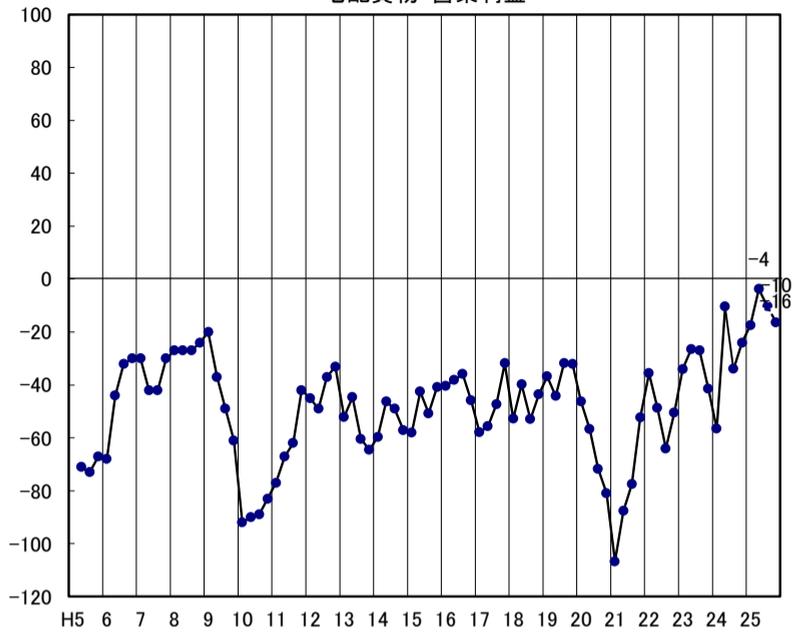
## 9. 業況判断指標の推移

平成5年第1四半期～平成25年第3四半期実績、平成25年第4四半期見通し



平成5年第1四半期～平成25年第3四半期実績、平成25年第4四半期見通し

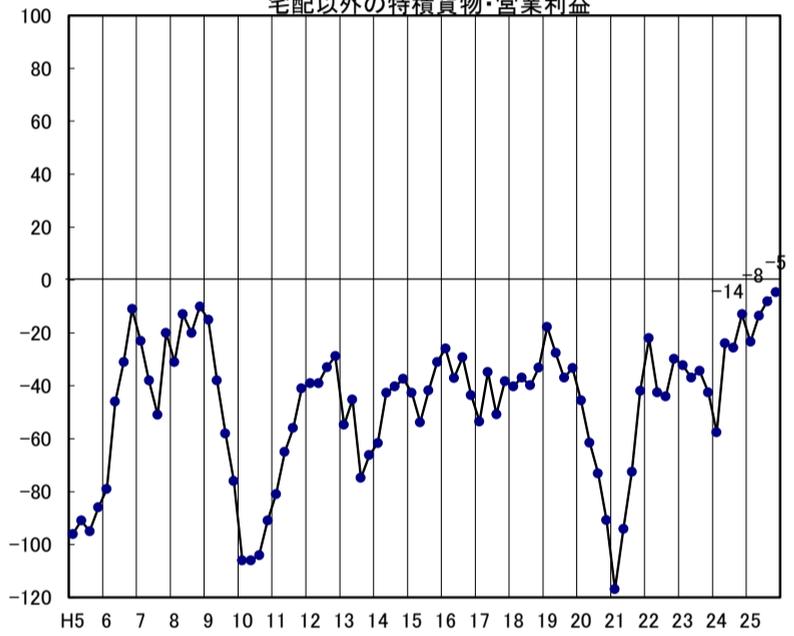
宅配貨物・営業利益



宅配貨物・運賃料金の水準



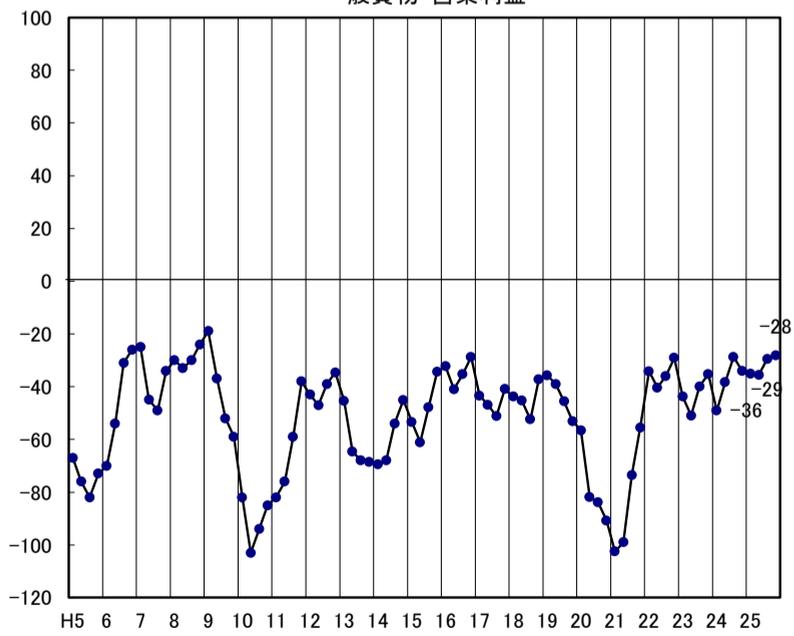
宅配以外の特積貨物・営業利益



宅配以外の特積貨物・運賃料金の水準



一般貨物・営業利益

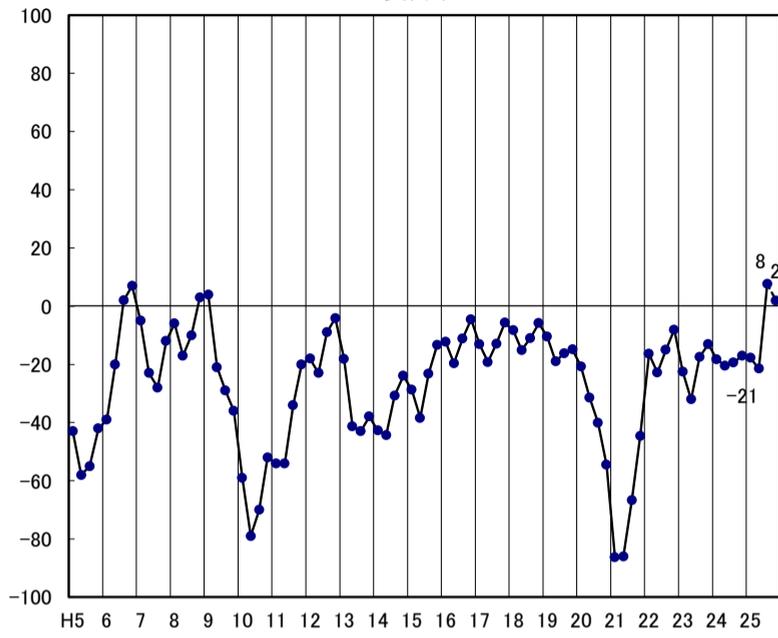


一般貨物・運賃料金の水準

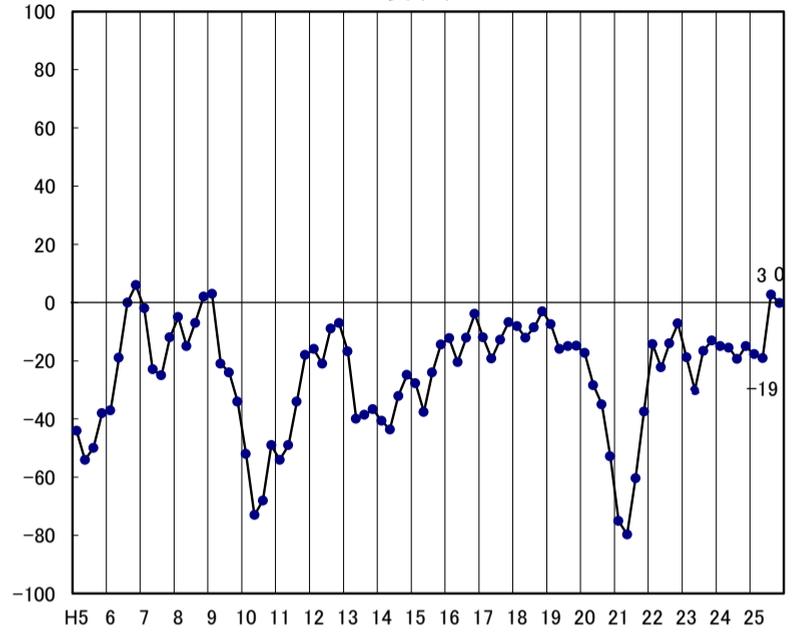


平成5年第1四半期～平成25年第3四半期実績、平成25年第4四半期見通し

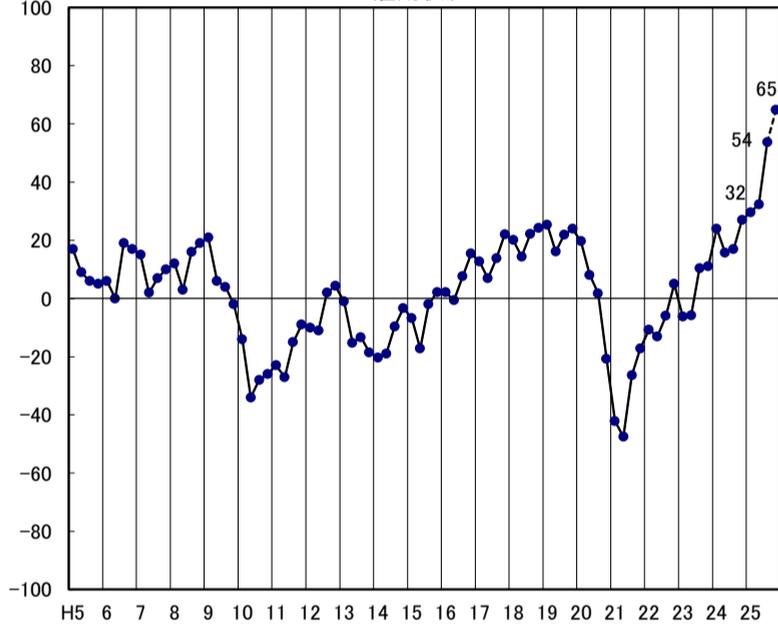
実働率



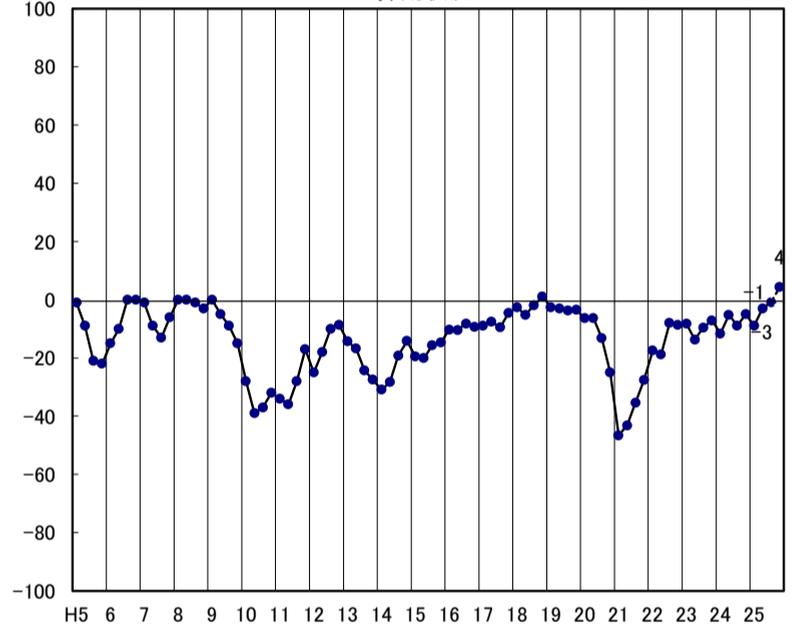
実車率



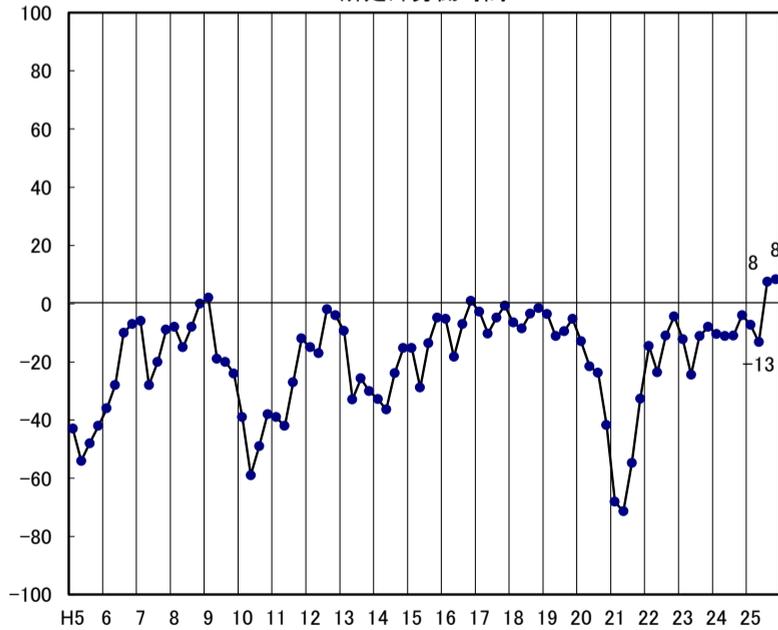
雇用状況



採用状況

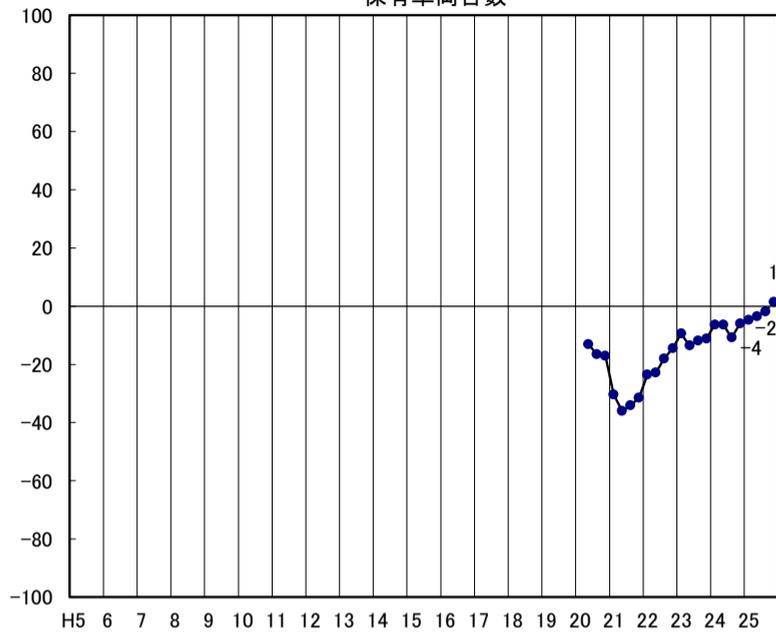


所定外労働時間

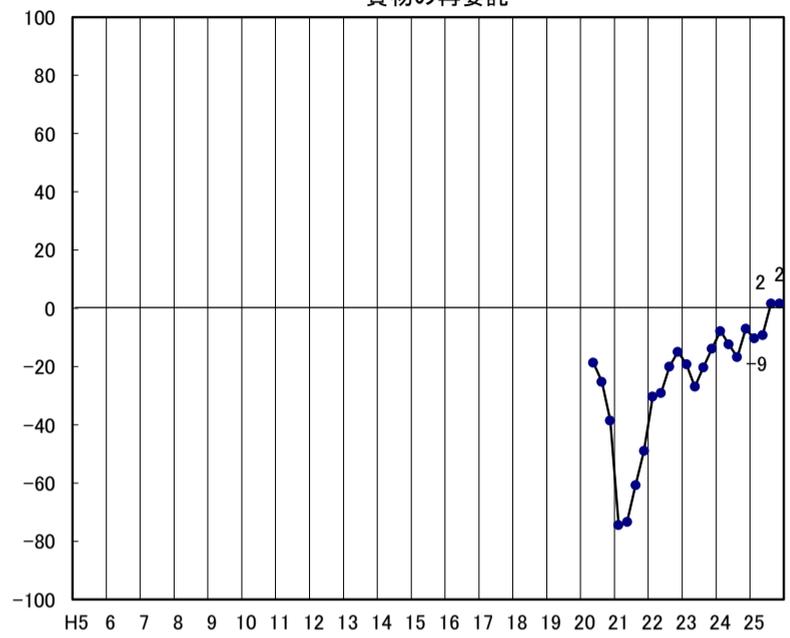


平成5年第1四半期～平成25年第3四半期実績、平成25年第4四半期見通し

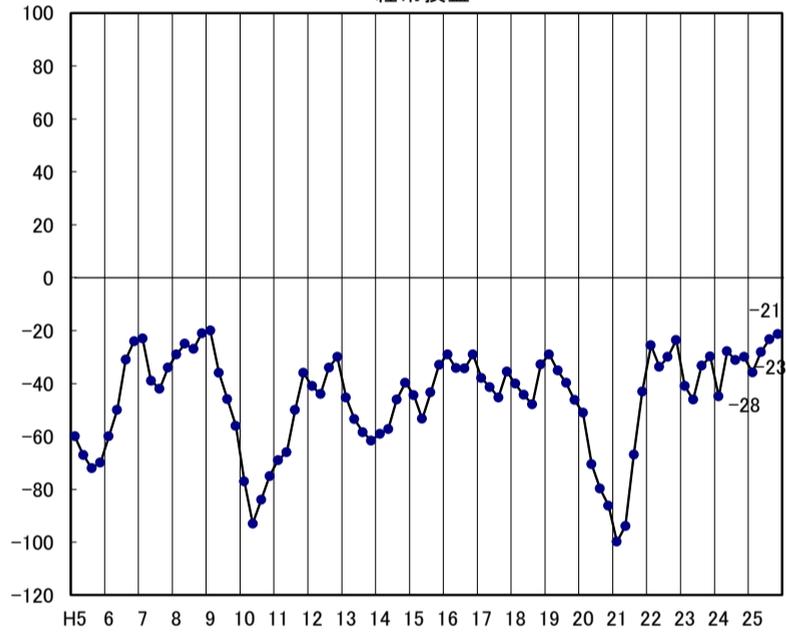
保有車両台数



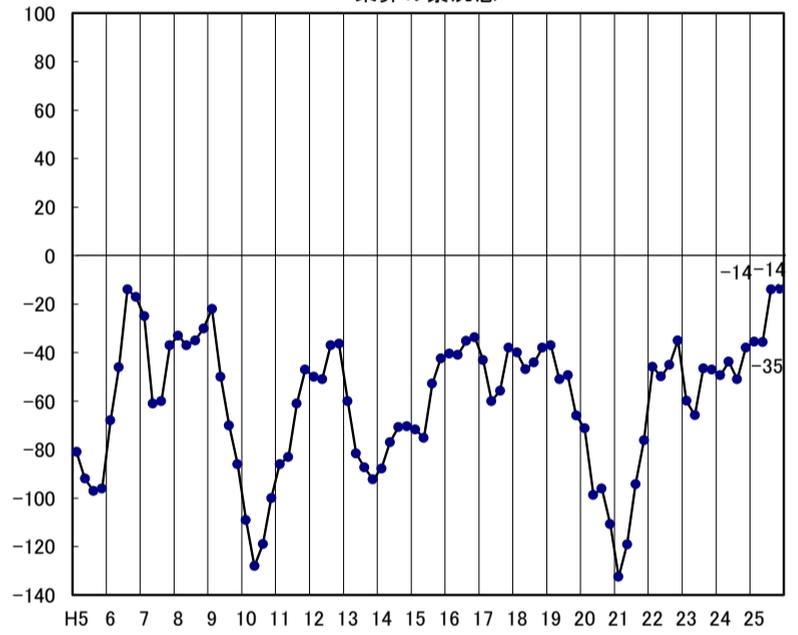
貨物の再委託



経常損益

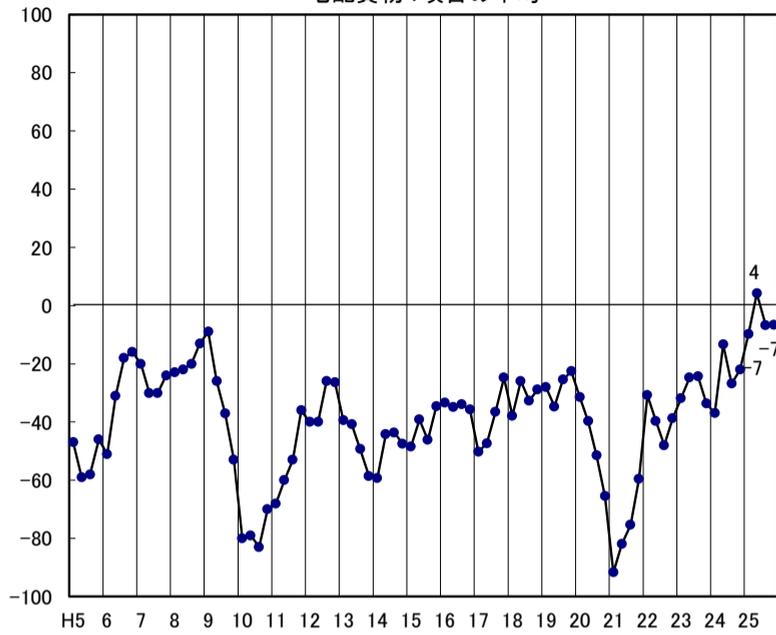


業界の景況感

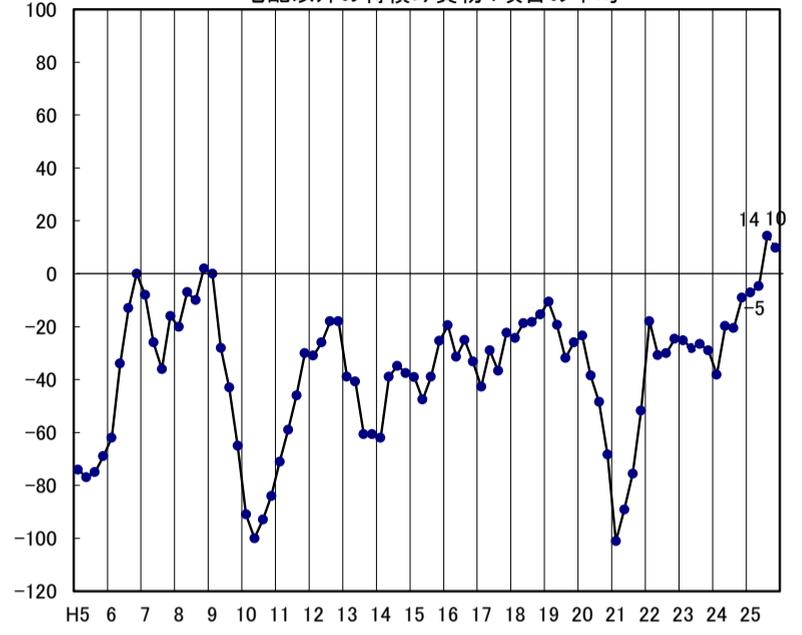


平成5年第1四半期～平成25年第3四半期実績、平成25年第4四半期見通し

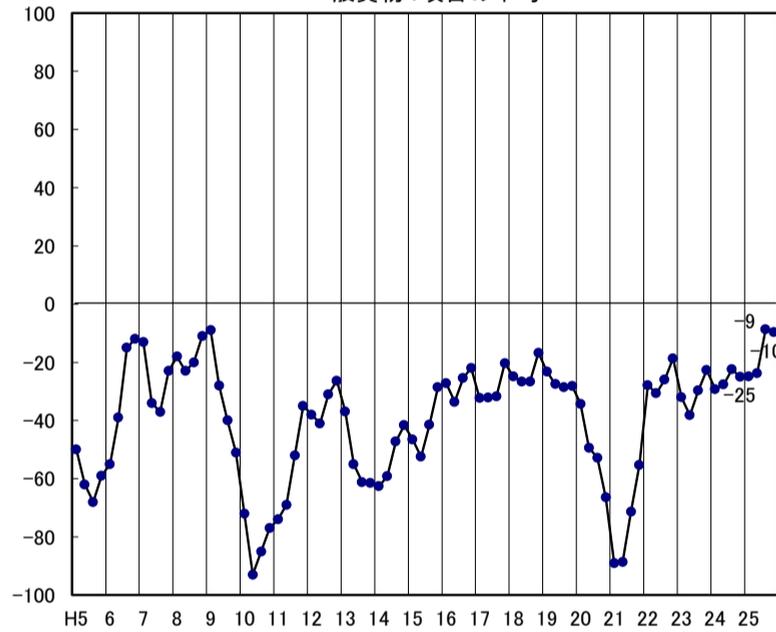
宅配貨物4項目の平均



宅配以外の特積み貨物4項目の平均



一般貨物4項目の平均



全項目の平均

